

1. はじめに

小学校を卒業するときには、中学校に進学することが決まっていた。しかし、中学校卒業後の進路は誰かが決めてくれるわけではありません。最終的には、生徒自身で選ばなくてはなりません。生徒にとって今までで初めての大きな進路の選択です。戸惑うこともあると思います。しかし、真剣に自分の進路を考えていけば、保護者や教師、周囲の大人の意見を取り入れながら、きっと自分にふさわしい選択ができると思います。いいかえれば、周囲の大人がどのように生徒の進路に関わっていくのかがとても大事だとも言えます。進路についての指導は「生き方」の指導だと言われています。一人ひとりにとって、よりよい進路選択の結果というものはすぐには出ません。3年後、5年後、10年後、20年後に答えが出るかも知れません。いずれにしても、長期的な展望に立っての指導が大切だと考えています。しかし、現実問題として、短期的な結果も大事にしていかなければなりません。つまり、『中学校卒業後の第1歩をしっかりと踏み出す』ということです。現在、高校中途退学者の増加や、職業意識の変化が大きな社会問題にもなっています。安易な進路選択によっては生徒の望まない結果になることが考えられるのです。そうならないためにも一人一人の生徒の進路選択能力の向上を目指さなければなりません。そのためには学校と保護者の方々の協力が不可欠です。生徒一人一人がよりよい進路の選択ができるように学校と家庭との連絡を密にし、指導していきたいと考えています。

【正しい進路選択のために】

- (1) 自分の将来に目的や希望を持ち、自分から取り組む。
- (2) 希望する進路について十分に調査し、様々な角度から検討する。
- (3) 目的実現のために、基本的な生活習慣、学習態度を身につける。

進路選択の問題は、単に「受験校を決め目標とする点数を取る」というだけのことでなく、自分の将来を自分の手で切り拓く力を身につけるための大変重要な過程です。

※この資料は進路に関する情報の中でも、特に初めて中学3年生を持つ保護者の方を対象にして作成したものです。個々の事例につきましては、今後の学級担任との進路相談・面談などを通して煮詰めていくことになります。

2. 進路選択にあたって

(1) 中学卒業後の具体的な進路

①公立高等学校（全日制）

県立・市立（いちりつ）の高等学校がある。受検日は全県統一なので、どこか一校しか受けられない。普通科は受検できる地域が限定されている。普通科の他に英語科、体育科など各種学科がある。また総合科の設置や単位制を導入、独自のコース制を設けるなど近年、各校特色づくりに取り組んでいる。

②私立高等学校（全日制）

各私立高等学校には、建学の理念や理想がある。独自の教育方針、教育課程などの特色がある。受験日や受験方法は、各校で決める。学費は一般的に公立より高額となる。

③国立高等学校

国立大学の付属校として、教育に関する研究・実験に協力することを主な目的としている。「教育実験校」という要素が強く、個性的な教育を実践しているので、学校毎に教育方針は違うが、全体として自主性を尊重している。

④高等専門学校（国立）

千葉県では、「木更津工業高等専門学校」のみ。履修期間5年間で、短大卒と同等の学歴が得られる。大学3年次に編入も可能。

⑤定時制高等学校

夕刻より学校に通う。仕事をしながら学校へ通いたい人のために設けられた。基本4年かけて単位を取り卒業するが、現在は単位を順調に取得できれば3年間で卒業できる学校もある。

県立松戸南高等学校には、三部制定時制校（午前・午後・夜間の三部からなり、単位の取り方によって3年又は4年で卒業できる。）が開設されている。私立高の中には昼間定時制というシステムを取っている学校もある。

⑥通信制高等学校、サポート校

入学者選抜で学力検査をしない。通信制高等学校では、①自主的に勉強してレポートを提出し、その添削指導を受けること②月2回程度のスクーリングに参加すること③学期毎の試験に合格することにより単位が取れる。通信制高等学に在籍する生徒を毎日学校に通えるようにし、その中でレポート作成などの支援をし、高校卒業資格取得の手助けをする学校をサポート校という。

⑦専修・各種学校

ビジネス、看護、理容、美容、服飾、調理など専門技能を取得する学校。中学校卒業者が専門技術を学ぶための学校を高等専修学校といい、高等学校卒業と同等の資格を取れるところもある。一般的に専門学校とは、高等学校卒業者を対象とした学校の呼び方である。

⑧企業内高校等

東京電力など工業系の企業に設けられている高校。バブル崩壊後は、数が減っている。給料が出るが、卒業後の制約などが多い。また、自衛隊高等工科大学なども高卒の資格の取れる特殊な高校である。入学試験はかなり難しくなっている。

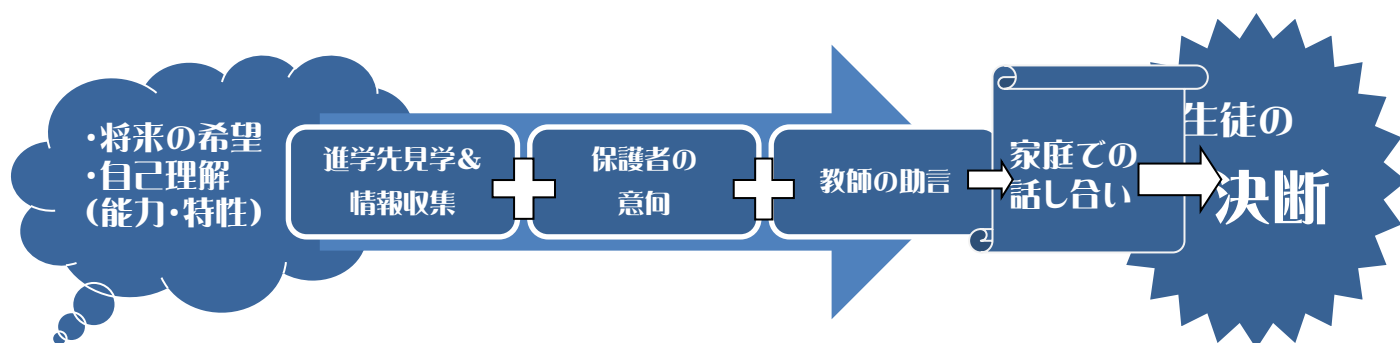
⑨職業訓練校・技術専門学校

資格や技術取得を目的とする。履修期間は様々である。

⑩就職

ハローワーク（旧職業安定所）の紹介による就職と親類縁者の紹介による就職がある。就職を希望する場合は、どちらかを明確にしなければならない。

(2) 進路決定の手順



※生徒の将来の希望

- ・ 将来どんな人生を送りたいか。
- ・ 希望の職業と関連させる。(文系・理系など)

※自己理解

- ・ 個性や適性を知る。
- ・ 身体の強さ、通学、通勤時間を考える。
- ・ 家庭の条件を考える。

◎生徒の決断

- ・ 保護者との十分な話し合いが必要。その上で、最終的に本人の意思と責任で行う。
義務教育9年間の最終年の進路決定を、自分の成長の証としてほしい。

(3) 進学者の不適應問題

退学者は高校1年生が最も多く、退学者全体の大部分を占めている。

(原因)

- ① 進学の動機が曖昧であること。
- ② 授業についていけない。
- ③ 学校・学科の選択に生徒の自主性がないこと。
- ④ 将来の進路との関連がないこと。
- ⑤ 学校・学科に対する知識や情報の不足。

一番の原因は、「進学の動機や目的意識が曖昧」ということ、高校に行く目的意識がはっきりしないためである。

(4) 印西中の進路指導について

印西中学校3年生は、1・2年次において自己理解、職業調べ、職場体験学習、など将来の進路や職業に関する学習も積み重ねてきました。しかし、具体的な進路先についての情報収集や検討は、これから生徒各自が行っていくことになります。進路選択は生徒それぞれ個別のことです。

また、千葉県の公立高校の入学選抜の方法をはじめ、進学への道筋にも年々変化があります。そういった状況に対応し、しっかりと進路への検討材料を得られるようにするため、本校では進路情報の配信、希望調査、面談の実施などを行っています。そして生徒・保護者・教師が連携をとり、生徒一人ひとりにふさわしい進路の選択ができるようにアドバイス等努めていきます。

◎具体的な方策としては

- ①望ましい職業観・勤労観の育成を前提とした進路指導をする。
- ②上級学校を調べ、見学・説明会・体験入学等に積極的に参加させる。
- ③保護者との連携の強化を図る。（保護者会、進路相談、その他あらゆる機会に進路についての情報交換をする。）
- ④基礎学力をつける授業、家庭学習等の指導を行う。
- ⑤実力テストの実施で客観的に自分のデータを理解させ、自己を見つめさせ、さらなる向上への意欲を喚起する。
- ⑥進路指導だよりによる各種進学情報の伝達を行う。

3. 公立高等学校（県立・市立）

(1) 学区

職業学科、専門学科、三部制、定時制、通信制は全県受検できますが、普通科は学区が設けられています。

※印西市は第4学区に属しています。

※千葉女子高等学校、幕張総合高等学校、木更津東高等学校は、全県受検できます。

※総合、農業、工業、商業、家政、水産、看護、理数、体育、外国語などに関する学科は、県内のどこの市町村からでも受検可能です。

※普通科で印西市から受検が可能なのは、以下の市町村にある高校です。

受検可能学区及び市町村名

学区名	市町村名
第1学区	千葉市
第2学区	市川市、船橋市、松戸市、習志野市、八千代市、浦安市
第3学区	野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
第4学区	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、富里市、印西市、白井市、酒々井町、栄町
第5学区	銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、神崎町、東庄町、多古町
第6学区	東金市、山武市、芝山町、大網白里町、九十九里町、横芝光町

※市立高校の学区

全日制普通科を受検できるのは、市立習志野、市立柏、市立銚子、市立船橋、市立松戸
専門学科及び定時制の課程には、学区制限はありません。

※隣接県協定により茨城県の一部の地域の公立高校の受検が可能です。

取手・土浦・竜ヶ崎・藤代・牛久など

※茨城県の公立校を受検すると千葉県の公立校を受検することはできなくなります。

(2) 出願

- ① 1人1校のみ出願できます。
- ② 出願日 令和3年2月9日(火)、10日(水)、12日(金)
※9日と10日は、午前9時から午後4時30分まで。
※12日は、午前9時から正午まで。
- ③ 志願変更 出願した者は、一回に限り、志願の変更をすることができます。
期間は、令和3年2月17日(水) 午前9時から午後4時30分まで
令和3年2月18日(木) 午前9時から午後2時まで
- ④ 入学検査料 全日制…2200円 定時制…950円 (令和2年度)

(3) 検査

検査日程

検査日 令和3年2月24日(水)及び令和3年2月25日(木)

発表日 令和3年3月5日(金)午前9時

検査内容

- ・第1日目 国語・数学・英語・の学力検査
(国語・数学は50分、英語は60分。
国語・英語は、聞き取り問題があります。)
※定時制で学力検査を国・数・英の三教科と定めた高等学校に限り学校設定検査を行う。
- ・第2日目 理科・社会の学力検査
各高等学校の特色に応じた検査を必要に応じて実施する。
各高等学校の校長が、次のア～オのうちから、いずれか1つ以上の検査を実施する。

- | | | |
|---|--------|--|
| ア | 面接 | ：学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは一般常識を問う。 |
| イ | 集団討論 | ：複数の受検者に、同一のテーマを与えて自由に討論させる。 |
| ウ | 自己表現 | ：決められた時間内に、受検者が予め提出したテーマにしたがって発表する。 |
| エ | 作文 | ：指示された題名のもとに文書を作成する。 |
| オ | 小論文 | ：ある文章を与え、その全体または一部について問い、受検者のものの考え方を見る。 |
| カ | 適性検査 | ：学校・学科の特色に応じて行う実技等の検査で、運動能力に関する検査、各学校が指定する検査を行う。 |
| キ | 学校独自問題 | ：高校が独自に作成し、受検者に課す筆記試験。 |
| ク | その他の検査 | ：集団に課題を与えて、活動を観察する検査。 |

志願者の資格

本年度卒業見込みの者又は卒業した者。

期待する生徒像の要件

各高等学校の定める期待する生徒像を具備する者。

(4) 入学許可候補者（合否）の決定

中学校の校長から送付された調査書、志願者から提出された志願理由書等の書類の審査、学力検査の成績及び各高等学校において実施した検査の結果を資料とし各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜行う。
※志願理由書などの特別な書類の提出を求める高等学校は一部となっており、各自Webページで調べるなどして確認し、準備を進める。

(5) 二次募集

どの高等学校が実施し、何名募集するかは合否発表後でないと決定しない。実施しない高等学校の方が多い。
※二次募集の入試科目は高等学校ごとに決定することになっている。

(6) 1 日体験入学・学校説明会

高等学校では、1 日体験入学・学校説明会等を実施している。1 日体験入学は中学校3年生を対象にしたもので、授業や施設の見学、簡単な実習などを通して学校の様子や学科の内容などについて知ってもらうことを目的としたものである。今年度は感染症の関係で体験入学・学校説明会が中止になっているところもある。（実施日程については今後、進路室前にポスター掲示、案内提示、進路だよりでの紹介などをしていきます。申し込みは担任を通じて進路指導主事までお願いします。ぜひ公立高1校、私立高1校の2校以上は見学、体験してきてほしいと思います。

(7) 私立高等学校を第1希望、公立高等学校を第2希望にしている場合

第1希望の私立高等学校に合格して入学することが決定した場合、公立高等学校の受検を辞退し、志願取消手続きをすることになる。

公立高等学校全日制の課程普通科通学区域

○各市町村の学区

第1学区	千葉市
第2学区	市川市 船橋市 松戸市 習志野市 八千代市 浦安市
第3学区	野田市 柏市 流山市 我孫子市 鎌ヶ谷市
第4学区	成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 白井市 富里市 印旛郡内全町
第5学区	銚子市 香取市 匝瑳市 旭市 香取郡内全町
第6学区	東金市 山武市 大網白里市 山武郡内全町
第7学区	茂原市 勝浦市 いすみ市 長生郡内全町村 夷隅郡内全町
第8学区	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
第9学区	木更津市 市原市 君津市 富津市 袖ヶ浦市

○志願者の受検可能学区（全日制普通科）

居住学区	高校所在学区								
	第1学区	第2学区	第3学区	第4学区	第5学区	第6学区	第7学区	第8学区	第9学区
第1学区	●	●		●		●	●		●
第2学区	●	●	●	●					
第3学区		●	●	●					
第4学区	●	●	●	●	●	●			
第5学区				●	●	●			
第6学区	●			●	●	●	●		
第7学区	●					●	●	●	●
第8学区							●	●	●
第9学区	●						●	●	●

○市立高校の通学区域

千葉市立千葉	普通	千葉市内のみ可能 (本人及び保護者が千葉市内に居住する者)
	理数	県内全域から可能
千葉市立稲毛	普通	千葉市内
	国際教養	県内全域
習志野市立習志野	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町村
	商業	県内全域
船橋市立船橋	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町村
	商業	県内全域
	体育	県内全域
松戸市立松戸	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町村
	国際人文	県内全域
柏市立柏	普通	第2・第3・第4学区の市町村
	スポーツ科学	県内全域
銚子市立銚子	普通・理数(くくり募集)	第4・第5・第6学区の市町村

令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜の日程等

1 一般入学者選抜の日程

(1) 入学願書等提出期間

令和3年2月9日（火）、2月10日（水）及び2月12日（金）

(2) 志願又は希望の変更受付期間

令和3年2月17日（水）及び2月18日（木）

(3) 学力検査等の期日

令和3年2月24日（水）及び令和3年2月25日（木）

※やむを得ない理由により本検査を全く受検できなかった者のうち、手続きを踏むことで追検査を受けることができる。

(4) 選抜結果の発表

令和3年3月5日（金）

2 第二次募集の日程

(1) 入学願書等提出期間

令和3年3月10日（水）

(2) 志願又は希望の変更受付期間

令和3年3月11日（木）

(3) 検査の期日

令和3年3月15日（月）

(4) 入学許可候補者の発表

令和3年3月17日（水）

3 地域連携アクティブスクールの入学者選抜の日程

一般入試選抜と同じ日程で実施

4 地域連携アクティブスクールの入学者選抜 第二次募集の日程

第二次募集と同じ日程で実施

5 秋季入学者選抜の日程

(1) 入学願書等提出期間

令和3年8月18日（水）～令和3年8月19日（木）

(2) 検査の期日

令和3年8月23日（月）

(3) 入学許可候補者の発表

令和3年8月25日（水）

6 通信制の課程の入学者選抜（一期入学者選抜）の日程

一般入試選抜と同じ日程で実施

7 通信制の課程の入学選抜（二期入学選抜）の日程
第二次募集と同じ日程で実施

※令和3年度公立高校の変更点

県立君津高校と県立上総高校を統合し、普通科及び園芸科を設置

※令和3年度高等学校入学選抜の種類の変更

- ・前期選抜と後期選抜を1回にまとめて一般入学選抜として実施
- ・地域連携アクティブスクールの入学選抜の一期入学選抜と二期入学選抜を1回にまとめて地域連携アクティブスクールの入学選抜として実施
- ・通信制の課程の入学選抜の一期から五期（秋季入学）入学選抜を、一期から四期（秋季入学）入学選抜の4回の選抜

検査の変更点

- ・学力検査を2日間で実施（1日目 国語・数学・英語 2日目 理科・社会）
- ・英語（リスニングテストを含む）の学力検査を60分で実施
- ・定時制の課程の学力検査を5教科または3教科で実施
- ・海外帰国の生徒の特別入学選抜の学力検査を3教科で実施
- ・インフルエンザ罹患などにより検査を全く受検できなかった場合を対象に追加検査を実施

4. 私立高等学校

- （1）学区 全国どこからでも受験可能。
- （2）出願 何校でも出願できるが、試験日の重複に十分気をつける。
- （3）試験日 各高等学校で独自に決定する。
※面接、1・2学期の成績、欠席・遅刻の数、部活・文化面での実績が重視される。
- （4）合格発表 試験後1週間以内（公立高等学校の試験日より早い）。
- （5）試験科目 国語、数学、英語の3教科が多い。選択できる高校もある。
- （6）面接試験 ほとんどの高等学校で面接が実施され、合否の判定で重視される。
- （7）入試日程（昨年度）

	前期入試	後期入試
千葉県私立	1月中旬	2月上旬

東京都私立	1月下旬（推薦）	2月中旬（一般）
茨城県私立	1月9日（推薦）	1月15日～（一般）

（８）推薦制度の概要

- ①多くの私立高校では、推薦制度を取り入れている。推薦には次の２通りがある。
- 単願推薦…当該私立高校を第一希望で受験し、合格した場合には必ず入学することが条件である。
- 併願推薦…当該私立高校を第二希望以下で受験する場合で、他の公立・私立校も受験することができる。

②推薦の条件

各私立高校が定める。おおむね次のような条件が必要である

A学習成績が当該私立高校の定める基準を満たしていること。

※成績は３教科、５教科ないし９教科の通知表の成績を基準とする学校が多く、３年の１学期（前期）または２学期のものとする場合が多い。

例 印西高校（普通科）の場合

単願推薦：５教科評定１５または９教科２７、併願推薦：５教科１７

B欠席、遅刻や早退が少ないこと。

③合格の目安

推薦条件を満たし、かつ入試相談がなされた場合は、おおむね合格となる。

難関校と言われる私立高校の場合には、上記のような推薦制度がない場合や、あったとしてもあくまでも受験条件・受験資格であるとする高校が多い。この場合の入試の合否は、入学試験の得点が重視される。

（９）第１希望（単願・専願）で出願すると有利になる学校が多い。

（１０）受験料 ２万円～２万５千円が多い。

（１１）入学手続き時納入金（入学金など）

- ・１５万円～５０万円。
- ・単願・専願の場合は一括納入。
- ・公立高等学校を第１希望とする場合、公立の合否発表前に入学一時金を納めなければならない高等学校がある。延納金制度という。延納金無しで延納の手続きができる高校もある。金額も高校により様々。

（１２）１０月末～１１月初旬には、志望校（私立高等学校）を決める必要がある。（入試相談解禁日が１２月１５日、予約開始が１２月１日であるため。茨城県は原則として１２月１日から）

（１３）１日体験入学・学校説明会

ほとんどの学校で実施している。受験希望のある高等学校の説明会等には、時間の許す限り参加するのが望ましい。

5. 専門学校

- (1) 学力試験は、国語・数学・英語の3教科のところが多く、ほとんどの学校で面接が実施される。
- (2) 課程が異なる。
 - ①高等課程…中学校卒業後の生徒を対象とした課程。高等専修学校と称する。学校によっては、科目を多く履修することで高等学校の卒業資格や大学受験資格が得られる。
 - ②専門課程…高等学校卒業後の生徒を対象とした課程。専門学校と称する。
 - ③一般課程…年齢や学歴に関係なく、幅広く学べる学校。
- (3) 資格を取ることでできる（国家試験の受験資格など）学科が多い。
- (4) 県立高等技術専門学校
少人数制で、機械加工、板金等の技術を身に付けることを目的にしている。修了者は100%就職できるように指導している。様々な年齢層の生徒がいる。受験料無料。（実習服、工場見学費、教科書代金は必要）印西市から通えるのは、船橋と我孫子の2校。
船 橋…金属加工科半年制、機械加工科2年制
我孫子…機械加工科2年コース(他は高卒者対象)
- (5) サポート校
通信制高等学校とタイアップしていて、高等学校卒業の資格が取れる。近年、この種の学校が増えているので、自分に合う学校を吟味する必要がある。

6. 就職について

- ・11月中旬にハローワークの職業相談を受ける。事前に適性検査を実施する。
- ・1月中に職場見学、2月から就職試験が始まる。
- ・選考基準では、面接が重視される。試験の多くは、国語・数学である。
- ・高等学校等の入学試験が終了してからの就職活動はたいへん厳しい。縁故関係で探す場合がほとんどである。できれば縁故の場合でもハローワークを通してもらうことができるありがたい。社会保障や労災などについて、しっかり確認することができる。

7. 公立・私立高の学費について

千葉県立高校諸費用の一般的な金額

- 入学料・・・・・・・・5650円
- 授業料・・・・・・・・月額9900円（年額118800円）
- 学校納付金（必要であれば各高校に問い合わせ確認）
- 生徒会費・・・・・・・・4000～7000円
- PTA会費・・・・・・・・2000～1万円
- 教科書・・・・・・・・6000～1万円
- 副教材・・・・・・・・5000～3万円
- 制服・・・・・・・・3万～7万円
- 体操服・・・・・・・・9000～1万7000円
- 上履き・・・・・・・・1000～3000円
- 体育館履き・・・・3000～5000円
- 旅行等積立金・・6万～10万円

私立高等学校諸費用

各学校によって、かなり大きな差がある。詳しくはそれぞれの高校のホームページや募集要項を参照する。

平均的な入学金は25万円前後が多い。入学手続き時の納入金は10万円～90万円と各校で大きな差が出ている。1年次に納める学費合計（初年度納付金）60万円～140万円とやはり各校で大きな差がある。一般的には100万円前後が多い。

ただし、この金額は公表されている分のみで、制服や指定品代・教材費などが含まれていない学校もある。学校によって別途納入金が必要になる場合もある。学債や寄付金（基本的に任意）などがある学校もあり、もちろん公立と比較して高額になる。

8. 家庭学習について

A. 夏休みの過ごし方のポイント

①計画について

中学校3年生＝受験生の夏休みにどのくらいの学習時間が必要かというと、個人差（志望校やその子の集中力）などがあり、一概には言えません。しかし1日4～6時間が標準的なところとは言えます。このくらいの学習時間を目標に予定を立てて計画的・規則的に過ごすことが大切です。

欲張ってあれもこれもと手を広げすぎて、初日から息切れするような無理な計画にならないよう、保護者の方からもアドバイスいただければと思います。教材も精選し、信頼できる必要最小限のものをくり返し、確実にマスターすることがポイントです。少し余裕を持ってこなせるくらいが「やり遂げた感」を得ることができ、よいと思います。

②学習内容

中1・中2の範囲を中心に、国・数・英3教科の復習は早めに一通り終わらせてほしいと思います。英・数はたとえ短時間でも毎日やることが大切になります。一方理科・社会は毎日少しずつ、というよりある程度まとめて重点的にやる方が効果の上がる生徒が多いようです。

③規則的な生活

とにかく生活が不規則になりがちな夏休みです。冬休みに比べ、受験まで間があるため、気がゆるみがちです。だからこそ努力した人となまけた人との差が大きくなります。夏休みの過ごし方が合否を分けます。受験は基本的に午前中。規則正しい生活を心がけ、充実した夏休み、受験勉強にしてほしいと思います。

B. 2学期の過ごし方のポイント

9月以降は落ち着いて勉強できないと悩む人も出てくるはずです。対策としては、どんなに忙しくとも毎日必ず2時間は勉強時間を確保することです。とはいえ、どうしても無理なときは、30分だけでも1日1回は必ず机に向かう、そういう習慣にすることで「勉強の勘」が養われ、集中力を保つことができると思います。また2学期は3回の実力テストを予定しています。実力テストや定期テストは自分の現在の実力を客観的に把握する機会だと考えましょう。志望校とあまりにかけ離れた試験結果の場合、それを冷静に判断し、目標を選び直すことも選択に入れてほしいと思います。その時に保護者の方からの適切なアドバイスが生徒の力となります。よろしくお願いいたします。

また、試験は自分の弱点を発見する最良のチャンスでもあります。できなかった分野をチェックし、その分野をもう一度きちんと復習するよう心がけましょう。自分の目標を見据え、勉強のペースをくずさず落ち着いて学習することが大切です。

9. 保護者の方へのお願い

(1) 対話を多くもって下さい

進路に関するアンケートによると、進路に関する相談相手のNo. 1は保護者です。日頃から相談にのることができる雰囲気なしでは、どんなに素晴らしい助言も功を奏しません。お子さまの希望をもとに家族でよく話し合い、進路を決定してください。

(2) 高校について軽はずみな評価は避けて下さい

学力だけで「あんな高校・・・」という感覚や、噂で高校を評価することは本人の進路選択の幅を狭くしてしまいます。どの高校に行ったなどということは、振り返ってみれば人生においてそれほど大きな意義はありません。要は自分の選んだ進学先でいかに努力をし、向上し、そして3年間を有意義に過ごせたかが大切です。

(3) 成績に一喜一憂しすぎないようにして下さい

人間の様々な能力の中で、受験期には学力がクローズアップされがちです。結果はどうであれ、目標に向かって努力する事や、自分が辛い立場にいらながらも他を思いやる心などが育つ時期でもあります。ひたむきな努力や内面的な成長を認め、励まして下さい。前述しましたが、進路とは単に受験校を決め、点数をとるということではなく、自分の将来を自分の手で切り拓いていく力を育てることであります。

(4) 家族の一員として仕事をさせて下さい

受験生ということで特別扱いせず、できる仕事は分担し、工夫して学習時間を確保する事が集中力につながります。「いつでもできる」ということは「すぐにやらなくてもよい」ということにもなります。受験は誰もが通る道です。ご自分の経験を踏まえて子どもを指導していただきたいと思います。

(5) 他との比較は避けて下さい

学力や進路先を、兄弟や知り合いの子供と比較することは、決して励みにはなりません。劣等感が増し、反抗する原因になることが多いようです。

(6) 進路先では次の点を重視しています。

○欠席日数（遅刻、早退）

○礼儀（特に言葉遣い）

○服装・頭髪

○学校行事や生徒会活動等への参加状況、意欲

学校でも十分に指導していきますが、ご家庭でもご協力お願いします。

10. 令和元年度 今後の進路関係等の主な予定

7/3(金)	進路説明会①(生徒対象)
7/6(月)	第2回実力テスト
7/16(木),17(金)	第1回定期試験
7/20(月)~22(水)	進路説明会①(保護者対象)
9/10(金)	第3回実力テスト
9/24(木),25(金)	第2回定期試験
10/6(火)	第4回実力テスト
10/8(木)	進路説明会②
11/2(月)	第5回実力テスト
11/12(木),13(金)	第3回定期試験
11/24(月)~26(金) 30(月)	三者面談期間
12/15(火)	私立高校事前相談開始

1/8(金)	第6回実力テスト
2/4(木)	県標準学力検査
2/9(火), 10(水), 12(金)	公立前期出願
2/17(水),18(木)	志願変更
2/24(水)	公立学力検査①
2/25(水)	公立学力検査②
2/26(金), 3/1(月)	追検査受付
3/3(水)	公立追検査
3/5(金)	公立発表
3/10(水)	公立2次出願
3/11(木)	公立2次志願変更
3/12(金)	卒業式
3/15(月)	公立2次学力検査
3/17(水)	公立2次発表

※必要に応じて12月や1月に希望制の面談を行う予定です。

1 1. 令和元年度卒業生進路先一覧

進路先			人数
公立全日制			
千葉県立幕張総合高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立実籾高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立船橋北高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立東葛飾高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立柏高等学校	全日制	普通科	2
千葉県立柏南高等学校	全日制	普通科	3
千葉県立柏陵高等学校	全日制	普通科	6
千葉県立柏の葉高等学校	全日制	普通科	3
千葉県立柏中央高等学校	全日制	普通科	2
千葉県立流山おおたかの森高等学校	全日制	国際コミュニケーション科	1
千葉県立流山北高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立我孫子高等学校	全日制	普通科	4
千葉県立我孫子東高等学校	全日制	普通科	20
千葉県立白井高等学校	全日制	普通科	8
千葉県立印旛明誠高等学校	全日制	普通科	13
千葉県立成田西陵高等学校	全日制	園芸科	2
千葉県立成田西陵高等学校	全日制	土木造園科	3
千葉県立成田西陵高等学校	全日制	情報処理科	2
千葉県立成田国際高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立成田国際高等学校	全日制	国際科	3
千葉県立成田北高等学校	全日制	普通科	4
千葉県立佐倉高等学校	全日制	普通科	2
千葉県立佐倉高等学校	全日制	理数科	1
千葉県立佐倉東高等学校	全日制	服飾デザイン科	1
千葉県立佐倉西高等学校	全日制	普通科	1
千葉県立四街道高等学校	全日制	普通科	2
船橋市立船橋高等学校	全日制	普通科	1
公立定時制			
千葉県立東葛飾高等学校	定時制	普通科	1
特別支援学校			
千葉県立湖北特別支援学校	全日制	普通科	2
私立			
我孫子二階堂高等学校	全日制	普通科	4
秀明八千代高等学校	全日制	普通科	2
二松學舎大学附属柏高等学校	全日制	普通科	1
千葉敬愛高等学校	全日制	普通科	1
中央学院高等学校	全日制	普通科	2
東京学館船橋高等学校	全日制	普通科	1
東京学館高等学校	全日制	普通科	2
千葉明德高等学校	全日制	普通科	1
専修大学松戸高等学校	全日制	普通科	1
千葉経済大学附属高等学校	全日制	普通科	1
千葉商科大学付属高等学校	全日制	普通科	1
八千代松陰高等学校	全日制	普通科	1
江戸川学園取手高等学校	全日制	普通科	2
東洋大牛久高等学校	全日制	普通科	1
國學院大學栃木高等学校	全日制	普通科	1
わせがく高等学校	通信制	普通科	2
就職・在家庭			
就職			0
在家庭			0
合計			117